

## 事業検証シート

基本目標	健康・福祉	すべての市民が健やかに暮らせるまち			
施策名	健康づくりの推進				
基本事業名	疾病予防の充実				
事業名	健康診査の推進			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
目的	がんの早期発見・早期治療を促進し、健康寿命の延伸を図る。				
手段	各種がん検診を実施する。また、がん検診の初年度である満40歳の受診料無料化や、一定年齢の対象者のうち、子宮頸がん・乳がん検診が未受診の女性へ無料クーポンを交付する。				
事業開始年度	平成17	年度	事業終了年度	—	年度
成果指標	現状値の推移				目標値
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和2年度 (2020)
大腸がん検診受診率	26.0%	27.2%	28.2%	31.1%	40.0%
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
事業費 (単位：千円)	70,388	75,306	76,924	80,247	
備考					
事業実績	実施内容				
	大腸がん検診については、早期発見・早期治療が有効であるが検診受診率は非常に低いため、働き盛り世代の検診受診へと結びつけるよう、令和2年度は市単独事業として年度末年齢50歳の市民に対する大腸がん検診無料化事業を実施した。対象者数864人のうち、大腸がん検診の申込をしていない人844人へ勧奨通知を出した結果、264人が受診し受診率は30.6%となった。働き盛り世代が、がん検診に関心を持つきっかけづくりとなった。（受診率参考：年度末年齢49歳/7.8%、年度末年齢51歳/6.9%）				
	《がん検診40歳無料化における受診率の変動》				
	事業実績（令和2年度末年齢）	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
	平成29年度満40歳（令和2年度満43歳）	7.2%	8.5%	9.4%	
	平成30年度満40歳（令和2年度満42歳）	21.5%	7.7%	9.5%	
令和元年度満40歳（令和2年度満41歳）	—	16.6%	6.6%		
令和2年度満40歳	—	—	19.5%		
事業総括	令和2年度は、年度末年齢50歳の市民の大腸がん検診の無料化に加え、県補助事業を活用し、年度末年齢56歳と61歳に限定して、過去5年間に一度も大腸がん検診を受けたことが無い市民に対し、大腸がんの検便キット一式を送り無料で検診を行った。加えて、要精検となった市民には、電話による精検勧奨を行った。				
達成状況	<input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった <input type="checkbox"/> その他				
第2期実施計画への掲載状況	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載継続 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合を図る <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了				
上記理由	市における大腸がんの死亡率は著しく高い状況にあることから、継続した取り組みとして支援体制の充実を図る必要があるため。				
第2期掲載における改善内容					